

SRM学会

桜花学園大学愛知県で17年度全国大会

副会長に竹本氏、副理事長に佐久間氏

ソーシャル・リスクマネジメント学会(SRM学会、戸出正夫理事長)は11月18日、桜花学園大学(愛知県豊明市)で、佐久間潔氏(桜花学園大学・名古屋短期大学)を大会委員長として、2017年度の全国大会を開催した。当日は、会員総会で本年度の事業報告と収支報告書を承認するとともに、来年度の事業計画および竹本恒雄氏(企業危機管理<研>、関西大学)を副会長に、佐久間氏を副理事長に、松下義行氏(関西国際大学)と亀井弘明氏(日新火災)を常務理事に昇格する来期の役員人事案を承認した。

上田和男氏(専修大学、日本SRM学会理事)の祝詞に引き続き、六つのテーマについて研究報告が行われた。亀井氏は「マンシヨンドクター火災保険」と題し、マンシヨン共有部分の損害を幅広く補償する同商品の意義を報告した。同氏は、近時、マンシヨン共有部分の損害率の急速な悪化を指摘し、保険引受会社の保険料が新築と建築後30年以上の場合では6・0倍の格差を生じている例を紹介し、日本SRM学会理事(長)の祝詞に引き続き、六つのテーマについて研究報告が行われた。

井上高氏(SRM学会評議員会長)は「環境事業の深刻化―人間文化と科学技術の和合について」と題し、環境リスクの加速・深刻化にどう対処すべきか、行動の変化も必要ではないかと提言。「超越的科学技術」を求め続ける「超の願望」―「超の文化」をいかに思いとどまらせるかの導きが必要であるとした。

メンタルヘルス、学校教育、第四 次産業革命など6題で研究報告

が、自然と人間は「和解」が必要で、しかるに、現代は哲学的思考が薄れていくことで懸念が述べた。小柳雅子氏(名古屋短期大学)は「過剰なリフレクションがもたらす学校教育のリスク」と題し、学校教育が多様な課題に取り囲まれていると、こうした状況を改善するため必要なのは「リフレクション(省察、振り返り)」が重要だと主張した。そして、学校教育がそもそも内包しているリスクとリフレクションの特性、現在の学校教育現場の状況を重ね合わせ、リフレクションを重視し過ぎることによって生じる新たな課題について、多くの先行研究を挙げて、リフレ

クシヨン自体は、教師を成長させ、学校教育活動を改善するために必要な営みであるものの、その効果が十分発揮されるかは、学校現場がどのような状況に置かれていかに大きく左右されるとの持論を展開した。神保敦氏(新日本コンピュータマネジメント)は「人工知能と第4次産業革命」について報告。まず人工知能の歴史を詳しく紹介し、第4次産業革命の特徴を論じた。それはモバイル化したインターネット、小型化し強力になったセンサーの低価格化、AI、機械学習

心臓、血管組織などの作成―等を挙げた。結論として、日本が生き残るには、新しい自動化されたロジスティックスとインターネットとを統合して、IoTプラットフォームに接続した何十億という機器が生み出すビッグデータの流れを処理し、経済活動を効率的に管理することが必要だと論じた。

佐久間氏は「デジタルデバイスによるプレゼンテーションとリスク」と題し、発生しやすいリスクについて詳しく紹介した。すなわち、近時の学会報告、研究発表にとどまらず、授業展開や会議、営業に至るまで、デジタルデバイスによるプレゼンの有用性が認められるようになってきたため利用が増加したが、プレゼン不能の場合も生じ得る。その原因を列挙し注意を促すと同時に、リスク対策として、データ保存した自前のPCを持ち込むことや、持参しない場合には会場の機械が適合するかどうかの事前確認が必要なこと、ケーブル類も忘れないこと、デジタルデバイスが使用不可の場合も想定しておくことが必要であることを強調した。

最後に、平岡諭氏(SRM学会常務理事)による閉会の辞に引き続き、情報交換会が開催され、本年度のSRM学会全国大会が終了した。

松下義行氏(関西国際大学)は「メンタルヘルスは、人が明るく元気に楽しく生きる基盤である」とし、個人の健康問題ではあるが、その不調の影響は社会問題であると指摘。自己管理には限界があり、社会全体の問題として、「リスク意識」の浸透と個別・総合的な対策が必要であるとした。そして、自殺対策に

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。



祝辞を述べる開催委員長・佐久間氏

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。

「環境変化は地球事象の変化に及び始めた」とし、長年の企業での指導者としての知識と経験に基づいて報告した。